

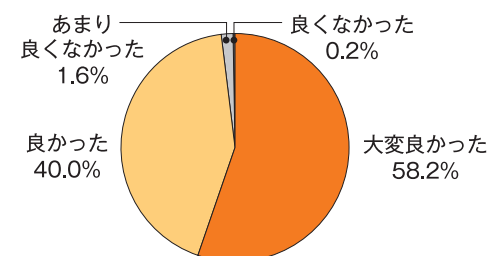
VII 事業効果 アンケート結果

1) 開催日当日のアンケート結果

スポーツごはん塾

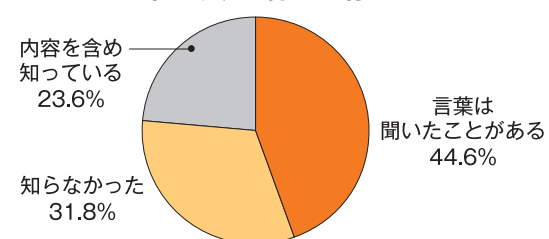
[有効解答回数 3505人]

Q1 本日のごはん塾に参加しての感想



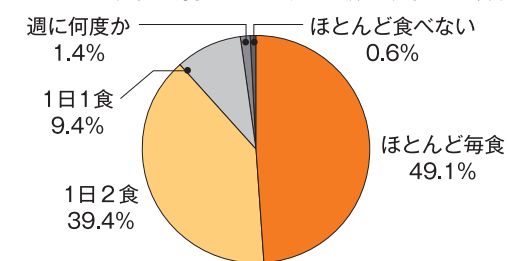
[有効解答回数 3488人]

Q3 あなたは日本型食生活をご存じでしたか



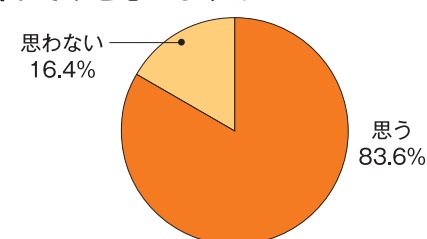
[有効解答回数 3547人]

Q5 あなたの食生活のうち、ご飯を食べる頻度



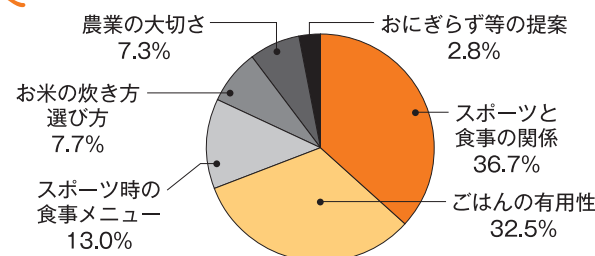
[有効解答回数 3512人]

Q7 本日の学習を受けて、今後、ご飯の量を増やそうと思いますか



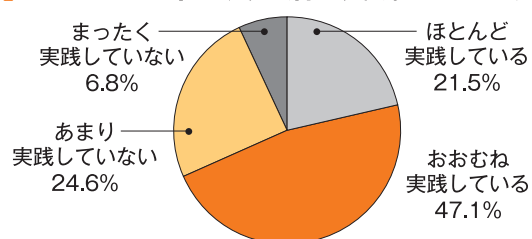
[有効解答回数 5710人]

Q2 本日勉強になったことは



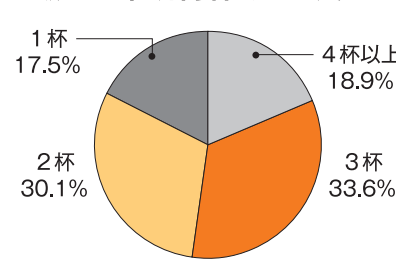
[有効解答回数 3483人]

Q4 あなたは日本型食生活を実践していますか



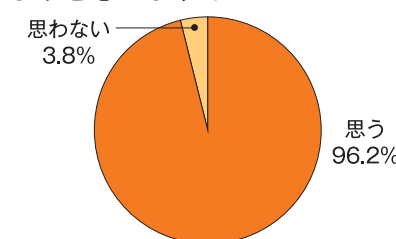
[有効解答回数 3541人]

Q6 1日にご飯をお茶碗何杯くらい食べますか



[有効解答回数 3511人]

Q8 本日の学習を受けて、今後、日本型食生活を実践しようと思いますか



「Gutsスポーツ&ワークごはん塾」開催後に参加者に実施したアンケート調査内容では、「スポーツごはん塾」と「ワークごはん塾」に分けてアンケート調査を行った。

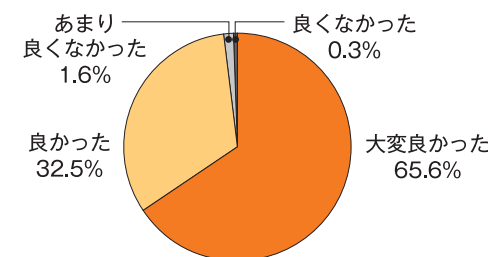
(1) スポーツごはん塾では、「ごはん塾に参加しての感想」について「大変良かった」58.2%、「良かった」40.0%となり、ほぼ参加者のすべての方から評価を得た。ごはん塾で勉強になったことでは、「スポーツと食事の関係性」36.7%、「ごはんの有用性」が32.5%が高い評価となり、日本型食生活の認知度では、「内容を含め知っていた」23.6%、「言葉は聞いたことがある」44.6%で、「ほぼ実践している」21.5%、

「おおむね実践している」47.1%と合わせ、比較的認知度は高い結果であった。また、「ごはん塾をうけて、今後ごはん摂取量を増やすか」については「思う」が83.6%と高く、「ごはん塾を受けて、今後、日本型食生活を実践したい」方も96.2%となり、今回のスポーツごはん塾を通して、「ごはんを中心とした日本型食生活」の再認識が大いに図られた。

ワークごはん塾

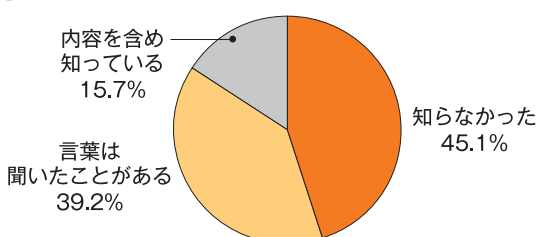
[有効解答回数 1879人]

Q1 本日のごはん塾に参加しての感想



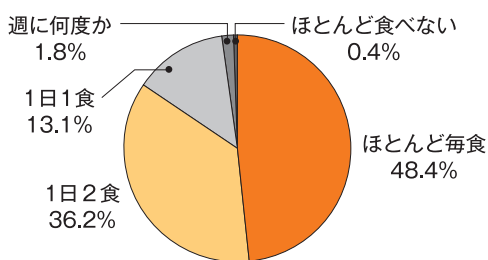
[有効解答回数 1853人]

Q3 あなたは日本型食生活をご存じでしたか



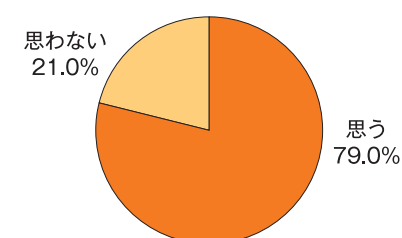
[有効解答回数 1896人]

Q5 あなたの食生活のうち、ご飯を食べる頻度



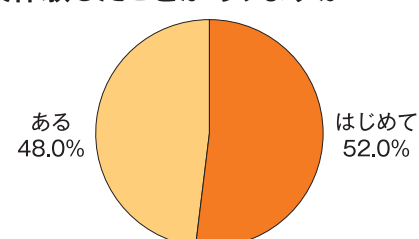
[有効解答回数 1873人]

Q7 本日の学習を受けて、今後、ご飯の量を増やそうと思いますか



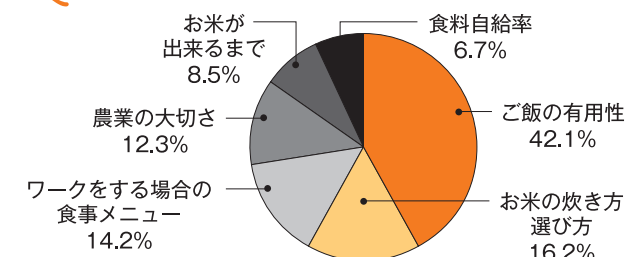
[有効解答回数 1728人]

Q9 あなたはこれまでに農業体験したことがありますか



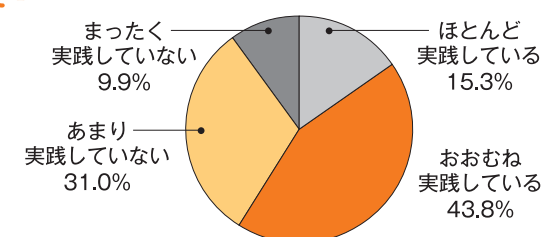
[有効解答回数 2556人]

Q2 本日勉強になったことは



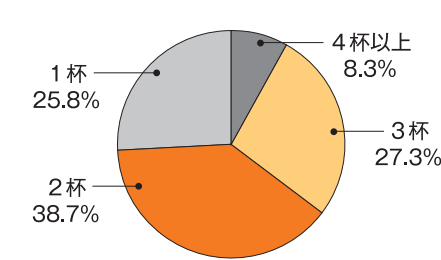
[有効解答回数 1811人]

Q4 あなたは日本型食生活を実践していますか



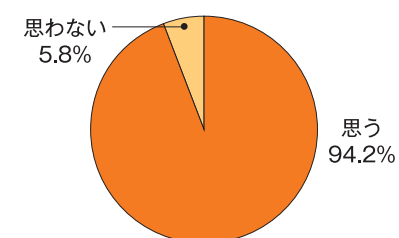
[有効解答回数 1911人]

Q6 1日にご飯をお茶碗何杯くらい食べますか



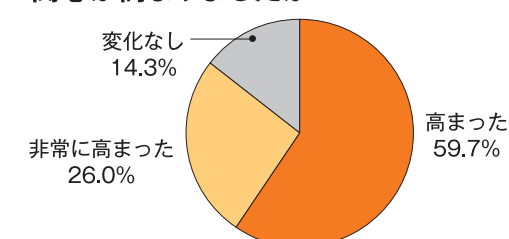
[有効解答回数 1825人]

Q8 本日の学習を受けて、今後、日本型食生活を実践しようと思いますか



[有効解答回数 1765人]

Q10 体験前に比べて農林水産業への関心が高まりましたか



さらに農業体験の経験は「ない」52.0%と半数あり、体験前に比べて農林水産業への関心は「非常に高まった」26.0%、「高まった」59.7%と効果的な結果であった。

本事業の成果目標は、農林水産省が掲げる政策目標である「日本型食生活の実践に取り組む人の割合27%、農林漁業体験を経験した国民の割合35%」の達成を念頭に「日本型食生活」の認知度の向上「80%」、「日本型食生活」を実践している者の割合の増加「30%」、「食や農林水産業への理解が深まった者の割合」50%に目標を設定して実施したがアンケート結果から十分に達成できたと思われる。

(2) ワークごはん塾でも、「ごはん塾に参加しての感想」に「大変良かった」65.62%、「良かった」32.50%となり、ほぼ参加者のすべての方から評価を得た。ごはん塾で勉強になったことは、「ごはんの有用性」が42.1%が高い評価となった。日本型食生活の認知度では、「内容を含め知っていた」15.7%、「言葉は聞いたことがある」39.2%、「ほぼ実践している」15.3%、「おおむね実践している」43.8%と比較的高い結果であった。また、「ごはん塾をうけて、今後ごはんの量を増やすか」については、「思う」が79.0%と高く「ごはん塾を受けて、今後、日本型食生活を実践したい」と思う人も94.2%の昇り認知度が向上した。